

楽園に暮らす贅沢

JALパッケージからの新たな提案

ヒルトンやマリオットなど世界に名だたるブランドが運営する物件から、JALパッケージが厳選した世界各地のリゾートに交換利用できる「タイムシェア(パッケージ・オーナーシップ)」をご紹介します。

1年に1週間分の権利を所有できます

相続・贈与の対象になります

世界各地のリゾートと交換利用できます

The Grand Waikikian
at Hilton Hawaiian Village
ご案内を開始!

JAL
Vacation
Ownership
System

O a h u



H a w a i i



P h u k e t



Las Vegas



JALパッケージズ

JALパッケージズは、JALパッケージ・オーナーシップシステムの略称です。

URL : <http://www.jalux.com/jvos/>

これはタイムシェア販売のご案内です。

タイムシェアの資料請求・説明会についてのお問合せは
ニック・オーナーシップ

0120-25-0740

FAX : 03-5460-6959

営業時間▶9:30~18:00(土・日・祝日を除く)

販売協力 : (株) JALUX

株式会社 JALUX



ライフデザイン事業部

上質の暮らしと旅を創る「らいふでざいん」はこちら

<http://www.jlife.jal.co.jp/>

株式会社 JALUX

(東証1部 : 銘柄コード2729)

〒140-8638 東京都品川区東品川2-4-11

TEL03-5460-7109(株式チーム) 03-5460-7233 (IRチーム)

www.jalux.com



古紙配合率100%再生紙と、米田大豆協会認定の大豆油インキを使用しています。

2007年6月発行

Jalux

Customer services

Lifestyle services

Aviation-related

JALUX REPORT

ジャルックス レポート

2006年4月1日~2007年3月31日(第46期 事業報告)

JALUX グッドタイムホーム・不動前 オープン!

2006年12月、
ヒューマンサービスを重視した介護付有料老人ホーム
「JALUX グッドタイムホーム・不動前」をオープン!



▲居室

重視したのは
ケアサービスの充実。
伝統が息づく品川、
山の手の地に誕生。



◀ロビー
&ライブラリー

株式会社JALUXライフデザイン <http://www.jalux-lifedesign.com>
お問い合わせ・資料請求は ☎0120-32-9006(受付時間/9:00~18:00)

JAL セレクション 「カレーデスカイ」「ハヤシデスカイ」「ミズデスカイ」 リニューアル!

素材・レシピにこだわった本格レトルトシリーズ
カレーとハヤシがさらにおいしく新登場!



◀ハヤシデスカイ

2007年3月
新登場

◀カレーデスカイ(ベジタブル)
コクと旨みにこだわった
高級感のある味わいに
仕上げました

◀カレーデスカイ
(ビーフ)

電子レンジで温めるだけの
手軽さが魅力。ご自宅はも
ちろん、旅のお供やギフトに、
ぜひご利用ください。

谷川山系の銘水にリニューアル

地下100mの水脈から
汲み上げた天然水

2006年11月
新登場

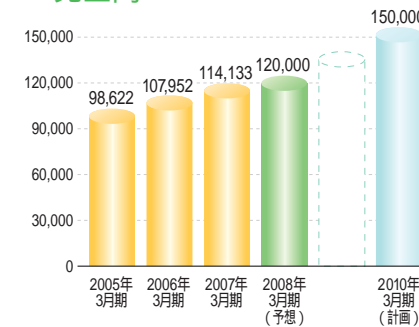
水 de SKY ▶



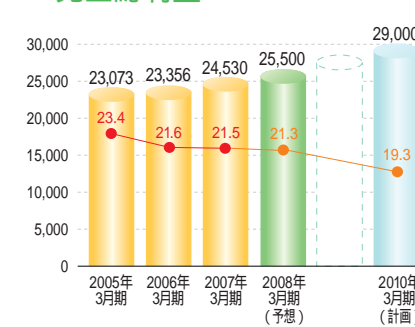
「デスカイシリーズ」のご購入には株主優待券がご利用いただけます。
「JAL World Shopping Club」カタログのご請求は ☎0120-25-39-84
(受付時間/9:30~17:30)

業績の推移および計画(単位:百万円)

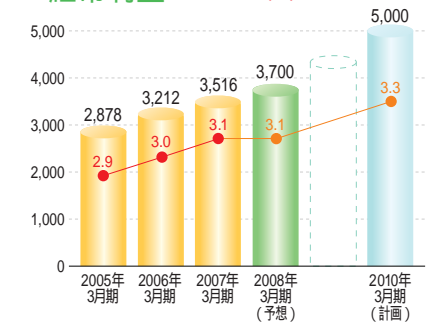
売上高



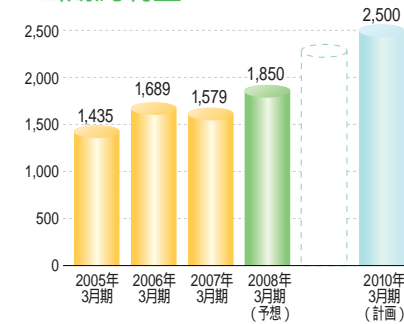
売上総利益 ●売上総利益率%



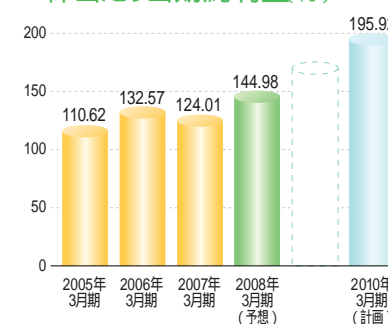
経常利益 ●経常利益率%



当期純利益



1株当たり当期純利益(円)



2008年3月期以降は予想または計画値です。

将来の計画に関する記載は、現在において入手可能な情報
および仮定に基づき作成しており、実際の業績はさまざまな
要因により計画と異なる場合があります。

CONTENTS

業績の推移および計画	02	連結財務諸表(要旨)	07
お知らせ~筆頭株主の異動について~		株式情報/株主メモ	09
トップメッセージ(営業の概況)	03	株価・出来高の推移	
セグメント別概況	04	会社概要/役員	10
JALUX 上場から5年間の歩み	05	株主優待について	

お知らせ

筆頭株主の異動について

2007年3月28日、JALUXの企業価値向上を目的として、(株)日本航空から双日(株)へ、当社株式が一部譲渡され、双日(株)が当社筆頭株主*となりました。JALUXは今後、JALグループの持つ資源(ネットワーク、ノウハウ、ブランド、顧客基盤など)に加えて、双日グループの有する資源も適切に活用しながら、事業拡充を

推進してまいります。そして、将来の大きな飛躍へ向けた強固な基盤を築くべく、有効な提携などによる相乗効果の創出に取り組んでまいりますので、引き続き、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

*株式異動後の持株数等につきましては9ページの株式情報をご参照ください。

トップメッセージ(営業の概況)

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
当社は、一般消費動向など当社を取り巻く事業環境も概ね堅調で、各事業とも業績は順調に推移いたしました。

特に、航空関連事業では、強化・拡充ビジネスの一つと位置付ける、国内重工業向け航空機部品の保管・供給ビジネスで取扱高を拡大し、好調な実績をおさめました。また、顧客サービス事業では、空港周辺における不動産開発や、リゾートタイムシェアシステム『JALパッケージング』などで、着実に事業規模を拡充いたしました。

これらにより、2007年3月期の売上高は前期を上回り、経常利益では3期連続で最高益を更新することができました。株主の皆様、関係先の皆様、日頃のご支援の賜と深く感謝申し上げます。

なお、当期中において、海外小売店の閉店などに伴う固定資産除却を実施いたしましたので、当期純利益では前期を下回りました。

また、当期中に株式の異動がございまして、双日株式会社当社筆頭株主となりました(双日30%、JAL21%)。今後、中期的には、JALグループに加え、双日グループの機能やネットワークなども、JALUXの強みとして最大限活用してまいりたいと考えています。そして、航空関連事業と、リテールを中心とする生活提案事業の成長をはかり、「経常利益50億円」の目標達成へ向けて尽力してまいります。

さらに、配当性向については単体ベースでの設定を変更し、連結純利益に対し3割を目標とし、適切な株主還元にも努めてまいります。



引き続き、皆様からのご期待と、ご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
岡崎 俊城

連結業績 (単位:百万円)	2007年 3月期	前期比 (%)	2008年 3月期予想	前期比 (%)
売上高	114,133	106	120,000	105
売上総利益	24,530	105	25,500	104
営業利益	3,246	133	3,500	108
経常利益	3,516	109	3,700	105
当期純利益	1,579	94	1,850	117

来期の業績の見通し(2008年3月期予想)

航空関連事業では、好調な航空機部品や、海外のエアライン向けの中古航空機販売などで、引き続き増益を見込み、基盤の拡充をすすめてまいります。

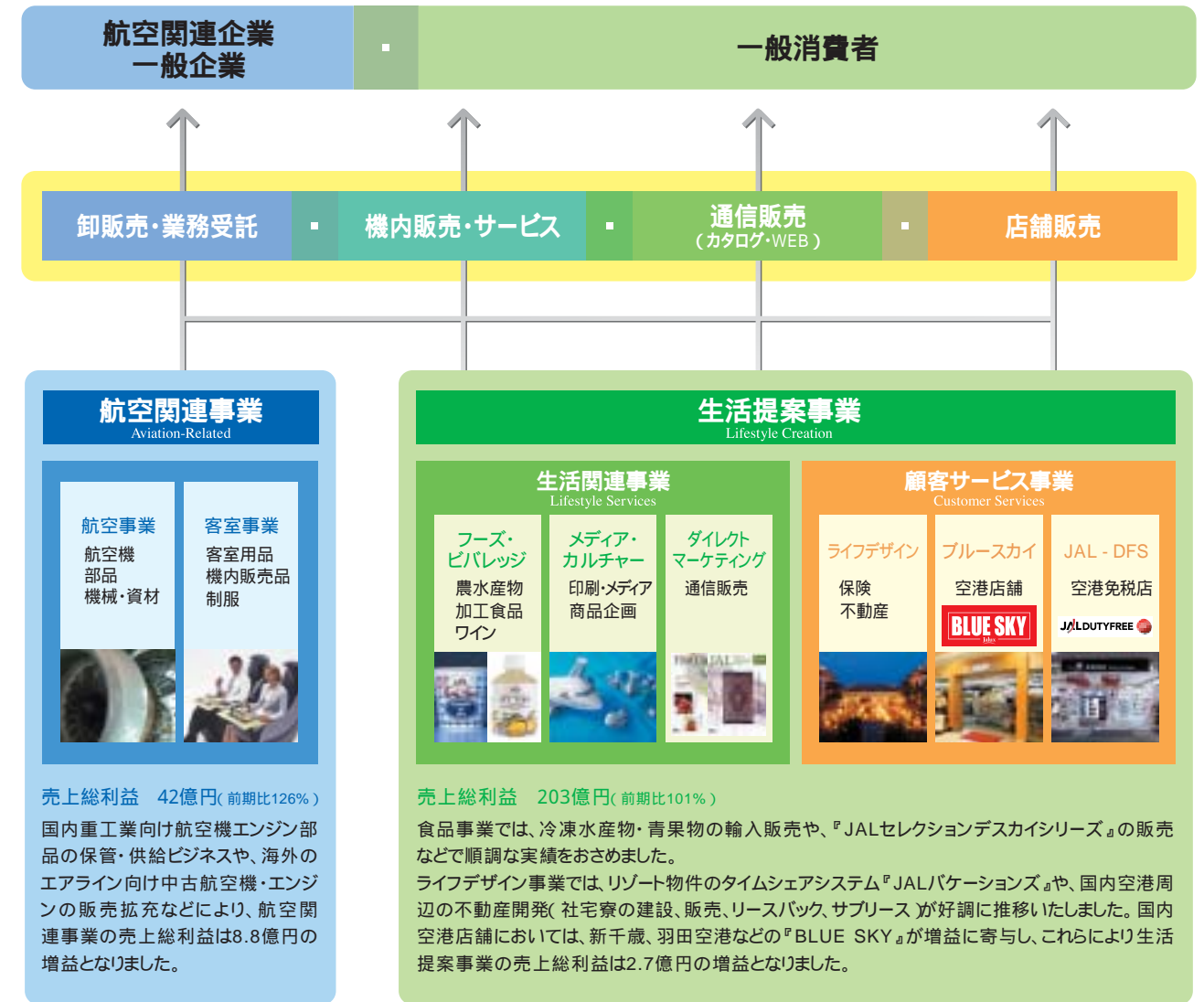
生活関連事業では、通信販売において新たなデータシステムを本格稼働し、マーケティング力や顧客サービスの向上と、効率化の推進により、増益を目指してまいります。また、食品では、当期にリニューアルした「カレーデスカイ」などの拡販をはかってまいります。

顧客サービス事業では、『JALパッケージング』におけるハワイの物件のラインナップ拡充、また、空港店舗『BLUE SKY』では、好調な新千歳空港や羽田空港を中心とする増益が見込まれます。

さらに、新規事業分野の一つである「厚生分野」では、東京・調布市と品川区の介護付有料老人ホーム『JALUXグッドタイムホーム』の安定的な運営により事業の充実をはかります。

これらにより、計画の確実な達成による最高益の更新と、持続的な成長を目指してまいります。

セグメント別概況



売上総利益 42億円(前期比126%)

国内重工業向け航空機エンジン部品の保管・供給ビジネスや、海外のエアライン向け中古航空機・エンジンの販売拡充などにより、航空関連事業の売上総利益は8.8億円の増益となりました。

売上総利益 203億円(前期比101%)

食品事業では、冷凍水産物・青果物の輸入販売や、『JALセレクションデスカイシリーズ』の販売などで順調な実績をおさめました。ライフデザイン事業では、リゾート物件のタイムシェアシステム『JALパッケージング』や、国内空港周辺の不動産開発(社宅寮の建設、販売、リースバック、サブリース)が好調に推移いたしました。国内空港店舗においては、新千歳、羽田空港などの『BLUE SKY』が増益に寄与し、これらにより生活提案事業の売上総利益は2.7億円の増益となりました。

JALUX 上場から5年間の歩み

JALUXは2002年2月に東京証券取引所に新規上場し、今年で上場5周年を迎えました。

その間、国際情勢の変化など、必ずしも順風とはいえない環境のもとで、独立企業として、着実に収益力向上へむけた取り組みを続け、利益規模、株主還元(利益配当金)ともに、概ね2倍以上の水準へと成長を遂げることができました。

皆様にあらためて感謝申し上げるとともに、これからのJALUXの成長に、一層のご期待をお寄せいただければ幸いです。



2003.3

「生活提案事業」を重点事業と位置付け、『BLUE SKY』や『JAL-DFS』などの国内空港店舗事業を強化。順調な業績をおさめました。



2004.3

イラク戦争やSARSによる国際線旅客数減少の影響を受け、空港店舗は減収となったものの、通販事業における食品カタログの拡充が奏功し、減益幅を最小限にとどめることができました。



2005.3

2004年1月にJASTレーディングと合併し、事業規模を拡大。さらに、航空関連では新たな部品供給システムを構築し、大幅な増益を果たしました。また、2004年10月には『JALUXグッドタイムホーム・調布』を開設し、介護事業に新規参入いたしました。



2006.3

『JAL-DFS』は新規出店の寄与などもあり、好調に推移。前期に開始した『JALパッケージ』も、堅調な需要に支えられ順調に取り扱い件数を伸ばし、経常利益は32億円となりました。



2007.3

上場以来取り組んできた、航空機部品供給システムなどの新たなビジネスモデルや、新規事業への取り組みが、着実に収益基盤の強化に寄与。7期連続での増配を果たすことができました。



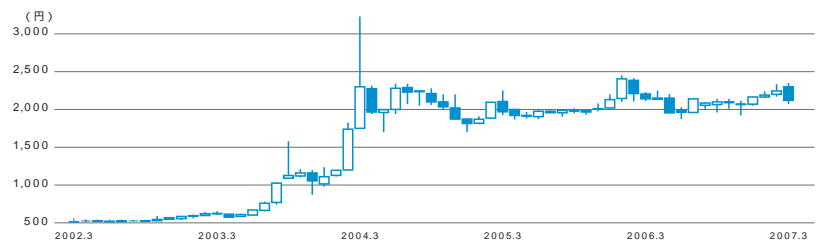
2008.3(予想)

通販、空港店舗、ライフデザインなど、リテールビジネスの拡充などにより、4期連続での最高益更新となる経常利益37億円を見込み、1株あたり35円の配当金を計画しています。

2010.3(計画)

航空関連事業と生活提案事業、そして既存事業の発展としての新規事業(環境・文化・厚生分野)により、経常利益50億円への到達と、配当性向(連結)30%を目指します。

株価の推移(2002年3月～2007年3月)



連結財務諸表(要旨) 単位:百万円、単位未満切り捨て

連結貸借対照表

科目	期別 前期 2006年3月31日	当期 2007年3月31日
資産の部		
流動資産	25,297	29,558
現金及び預金	4,954	5,688
受取手形及び売掛金	11,376	13,468
有価証券	—	7
たな卸資産	5,653	6,117
繰延税金資産	471	469
その他	2,885	3,836
貸倒引当金	43	29
固定資産	12,261	12,787
有形固定資産	5,384	5,210
無形固定資産	1,257	1,861
投資その他の資産	5,618	5,715
投資有価証券	2,481	2,794
長期貸付金	462	530
長期差入保証金	1,917	1,860
繰延税金資産	342	276
その他	546	363
貸倒引当金	132	111
資産合計	37,559	42,345

科目	期別 前期 2006年3月31日	当期 2007年3月31日
負債の部		
流動負債	19,957	23,037
支払手形及び買掛金	11,854	13,561
短期借入金	2,999	3,826
未払法人税等	596	684
未払費用	2,267	2,407
その他	2,239	2,557
固定負債	3,500	3,792
長期借入金	2,549	2,963
退職給付引当金	283	112
役員退職慰労引当金	185	195
繰延税金負債	57	90
その他	424	431
負債合計	23,457	26,830
純資産の部		
株主資本	13,253	14,550
資本金	2,558	2,558
資本剰余金	711	711
利益剰余金	9,992	11,289
自己株式	9	9
評価・換算差額等	32	24
その他有価証券評価差額金	22	13
繰延ヘッジ損益	4	4
為替換算調整勘定	51	7
少数株主持分	881	940
純資産合計	14,101	15,515
負債・純資産合計	37,559	42,345

有利子負債

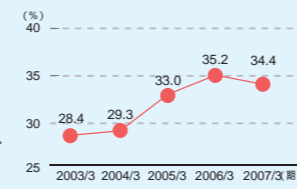
(短期借入金+長期借入金)



新たな基幹システムの導入に伴う、短期および長期借入金の増加により、有利子負債は67.9億円、現預金残高を差し引いたネットの有利子負債は11億円となりました。

自己資本比率

(純資産-少数株主持分)÷総資本



利益剰余金の増加により株主資本は増加いたしました。借入金の増加や空港店舗事業の拡充による仕入債務の増加等により、自己資本比率は34.4%となりました。

新会社法の施行により、連結貸借対照表における従来の「資本の部」の記載が「純資産の部」に変更されています。なお、前期「純資産の部」の数値につきましては、同「資本の部」の数値を組み換えて表示しています。

連結損益計算書

科目	期別 前期 2005年4月1日 - 2006年3月31日	当期 2006年4月1日 - 2007年3月31日
売上高	107,952	114,133
売上原価	84,595	89,602
売上総利益	23,356	24,530
販売費及び一般管理費	20,911	21,284
営業利益	2,444	3,246
営業外収益	878	461
営業外費用	110	191
経常利益	3,212	3,516
特別利益	148	28
特別損失	192	378
税金等調整前当期純利益	3,169	3,166
法人税、住民税及び事業税	1,246	1,309
法人税等調整額	49	93
少数株主利益	184	183
当期純利益	1,689	1,579

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	期別 前期 2005年4月1日 - 2006年3月31日	当期 2006年4月1日 - 2007年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,522	1,593
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,856	1,823
財務活動によるキャッシュ・フロー	866	765
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	48
現金及び現金同等物の増減額	187	583
現金及び現金同等物の期首残高	5,134	4,946
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	—	115
現金及び現金同等物の期末残高	4,946	5,646

ロンドンの小売店閉店に伴う固定資産処分損や、商品評価減の実施により特別損益がマイナス3.5億円となりました。また、前期は、株式評価減に伴う税金の低減がございましたが、当期は、決算上の特殊要素は無く、当期純利益は15.8億円となりました。

連結株主資本等変動計算書

当期 2006年4月1日 - 2007年3月31日	株主資本				評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定			評価・換算差額等合計
2006年3月31日残高	2,558	711	9,992	9	13,253	22	—	51	28	881	14,105
連結会計年度中の変動額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	306	—	306	—	—	—	—	—	306
当期純利益	—	—	1,579	—	1,579	—	—	—	—	—	1,579
自己株式の取得	—	—	—	0	0	—	—	—	—	—	0
自己株式の処分	—	—	—	0	0	—	—	—	—	—	0
持分法適用関連会社の増加	—	—	24	—	24	—	—	—	—	—	24
持分変動による自己株式の減少	—	—	—	0	0	—	—	—	—	—	0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	8	4	58	53	59	112
連結会計年度中の変動額合計	—	0	1,297	0	1,297	8	4	58	53	59	1,409
2007年3月31日残高	2,558	711	11,289	9	14,550	13	4	7	24	940	15,515

株式情報 / 株主メモ / 株価・出来高の推移

株式情報(2007年3月31日現在)

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式総数	12,775,000株
株主数	10,803名

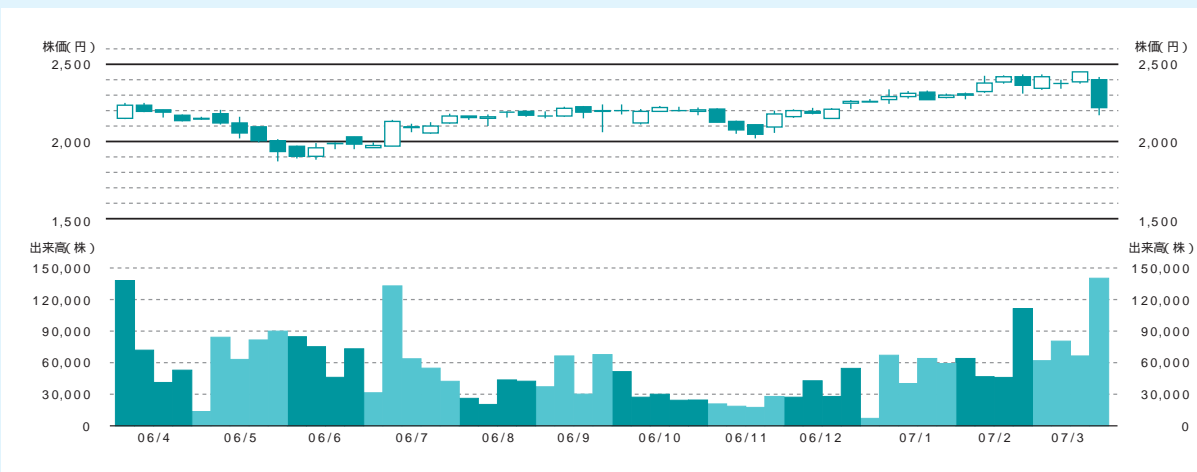
大株主(上位10名)

株主名	持株数	出資比率
双日株式会社	3,832千株	30.0%
株式会社日本航空	2,727千株	21.4%
東京海上日動火災保険株式会社	455千株	3.6%
ニッセイ同和損害保険株式会社	392千株	3.1%
三井住友海上火災保険株式会社	252千株	2.0%
あいおい損害保険株式会社	189千株	1.5%
株式会社損害保険ジャパン	189千株	1.5%
空港施設株式会社	168千株	1.3%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	147千株	1.2%
JALUX 社員持株会	144千株	1.1%

株主メモ(2007年6月22日現在)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
株主確定基準日	3月31日(定時株主総会・期末配当金)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先・郵送先	東京都江東区東砂7丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 ☎0120-232-711
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店 野村證券株式会社本店ならびに全国各支店
公告掲載方法	当社ホームページにおける電子公告

株価・出来高の推移(2006年4月1日~2007年3月31日)



会社概要 / 役員

会社概要(2007年3月31日現在)

商号	株式会社 JALUX (ジャルックス) [英文名 JALUX Inc.]
証券コード	2729(東証1部)
設立	1962年(昭和37年)3月28日
資本金	25億5,855万円
従業員数	1,837名(連結子会社1,204名を含む)
国内空港店	成田、羽田、関西、福岡など25空港98店舗
国内子会社	(株)JAL-DFS(免税品販売) (株)JALUXエアポート(空港店舗運営業務) (株)JYファッションクリエイト
海外子会社	JALUX EUROPE Ltd.(ロンドン、ウィーン) JALUX AMERICAS, Inc.(ロサンゼルス) JALUX HAWAII, Inc.(ホノルル) JALUX ASIA Ltd.(バンコク) JALUX ASIA SERVICE Ltd.(バンコク) JALUX HONG KONG Co., Ltd.(香港) JALUX SHANGHAI Co., Ltd.(上海)
連結子会社	

役員(2007年6月22日現在)

取締役会長	友森 宏
代表取締役社長	岡崎 俊城
専務取締役	坂本 敏男
専務取締役	塩野谷 住雄
専務取締役	飯島 宏
常務取締役	市川 健二
常務取締役	大貫 泰正
取締役	山口 俊朗
取締役	牧 兼生
取締役	浅山 得壽
取締役	松下 良夫
取締役	安孫子 正行
取締役	山本 雅之
取締役	宮永 正義
取締役	田島 伸一
取締役	武田 裕
取締役(非常勤)	濱 肇
取締役(非常勤)	大村 善博
監査役	吉田 亮二
監査役	中野 恒彦
監査役(非常勤)	西 温朗
監査役(非常勤)	石 澤 照久

株主優待について

毎年9月30日および3月31日現在、100株以上所有の株主名簿記載の株主の皆様は、次の通りJALUX商品券を進呈いたします。

株数	商品券枚数		年間優待額
	9月末	3月末	
100株以上 (500株未満)	2枚	2枚	4,000円
500株以上 (2,000株未満)	4枚	4枚	8,000円
2,000株以上 (4,000株未満)	7枚	7枚	14,000円
4,000株以上 (6,000株未満)	10枚	10枚	20,000円
6,000株以上 (10,000株未満)	12枚	12枚	24,000円
10,000株以上	14枚	14枚	28,000円

優待内容

JALUX 通信販売カタログおよび空港店舗でのお買い物において、1枚につき1,000円分の商品券としてご利用いただけます。(1年間有効)

適用対象

株主優待商品券は『JAL World Shopping Club』、『BLUE SKY』、『JAL-DFS』、『PLAZA WIEN JALUX』でご利用いただけます。

インターネット、機内販売、「JAL PLAZA(有楽町)」、「NAA&JAL-DFS(成田空港 第1ターミナル)」等ではご利用できませんので、あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。

詳しくは www.jalux.com/ir

カタログ通販で使えます!

通信販売カタログ
JAL World Shopping Club
(ジャル・ワールド・ショッピングクラブ)

店舗で使えます!

全国空港店舗
BLUE SKY
(ブルースカイ)



JAL DUTYFREE
(成田空港第2ターミナル内)
国際線免税店

2007年1月から、『JAL-DFS』、『PLAZA WIEN JALUX』でもご利用いただけるようになりました。

株主優待制度(店舗所在地等を含む)は、各種要因により変更となる場合がございますので、あらかじめご留意くださいますようお願い申し上げます。